



～千葉県公立高等学校入学選抜における新型コロナウイルス感染防止対策に係る追加措置について～

**1：出願方法について**

*\*千葉県教育委員会HPより(R3.1.22)*

⇒ 今年度は各高校の窓口出願に加えて、教員が生徒分をまとめた『窓口出願』や『郵送出願』ができるようになりました。また、個人での『窓口出願』や『郵送出願』も認められています。

本校では、**教員がまとめて窓口出願を予定しています**。詳しい連絡やスケジュール変更があれば後日、連絡します。

**2：検査当日(2月24, 25日)の検査時間割の変更について**

⇒ 受付・点呼の時間及び学力検査の各教科の間隔(昼食・休憩を除く)を、それぞれ10分延長します。

**第1日**(受付・点呼の時間を10分⇒20分。国語と数学の検査の間の休憩等の時間を20分⇒30分。)

【変更前】		【変更後】	
9時30分	集合	9時30分	集合
9時30分～9時40分	受付・点呼	9時30分～9時50分	受付・点呼
9時40分～9時55分	注意事項伝達	9時50分～10時05分	注意事項伝達
10時05分	検査室着席完了	10時15分	検査室着席完了
10時10分～11時00分	国語	10時20分～11時10分	国語
11時15分	検査室着席完了	11時35分	検査室着席完了
11時20分～12時10分	数学	11時40分～12時30分	数学
12時10分～12時55分	昼食・休憩	12時30分～13時15分	昼食・休憩
13時00分	検査室着席完了	13時20分	検査室着席完了
13時05分～14時05分	英語	13時25分～14時25分	英語
14時20分～	学校設定検査	14時40分～	学校設定検査

※5教科の学力検査を実施する高等学校にあっては、学校設定検査を第2日の午後1時25分以降に行うものとします。また、3教科の学力検査を実施する定時制の課程にあっては、学校設定検査を第1日の午後2時40分以降又は第2日の午前9時50分以降に行うものとします。

**第2日**(受付・点呼の時間を10分⇒20分。理科と社会の検査の間の休憩等の時間を20分⇒30分。)

【変更前】		【変更後】	
9時30分	集合	9時30分	集合
9時30分～9時40分	受付・点呼	9時30分～9時50分	受付・点呼
9時40分～9時55分	注意事項伝達	9時50分～10時05分	注意事項伝達
10時05分	検査室着席完了	10時15分	検査室着席完了
10時10分～11時00分	理科	10時20分～11時10分	理科
11時15分	検査室着席完了	11時35分	検査室着席完了
11時20分～12時10分	社会	11時40分～12時30分	社会
12時10分～12時55分	昼食・休憩	12時30分～13時15分	昼食・休憩
13時05分～	学校設定検査	13時25分～	学校設定検査

\*常時換気を行うので、暖かい服装を準備し、検査中でも防寒着の着用可能とする。

\*公立受検用の健康観察シートを持ち物に追加する。(事前指導で配布する。)

## ～今年、受験生の君たちへ「僕だって…合格したかった」～

僕は2年前、受験に失敗しました。家の事情で公立は一校しか受験しなかったため、不合格だった時は本当にショックでした。でも高校にはどうしても行きたい。それで公立の二次募集の出願に行きました。

卒業式の前の日のことです。卒業式の日に進路先が決まっていなかった人たちはクラスで僕以外に2人いましたが、他のクラスには1人もいませんでした。他のクラスは卒業式で男子も女子もたくさんの人が立って別れを惜しんでいましたが、僕のクラスはこれからまだ受験をする3人のことを気遣ってか、朝からシーンとしています。この静けさは、公立高校発表日からずっと僕のクラスで続いています。「時を戻すことができれば」と、どれくらい願ったことでしょう。僕は、今のクラスが大好きでした。男子も女子も仲良く、行事があると盛り上がり、授業中のおしゃべりも多少はありましたが、みんな進路を真剣に考えてどの授業もしっかり受けていました。

しかし、1月に私立第一志望組が合格を果たし、2月初めに公立前期入試で多くの合格者が出てからクラスの雰囲気がガラッと変わりました。朝自習や授業で合格した人たちの私語が多くなり、これまでのように集中して学習に取り組めない日々。自宅に帰っても、クラスの合格した人の受験が終わった喜びに満ちたメールが毎日山ほど来るので、返信に時間かかるようになりました。公立後期試験が近づいてきたので、多少焦ってきた時も返信をしないと翌日文句を言われることもあり、自宅での学習がままならない状況になっていました。クラスは長かった受験が終わった喜びに満ち、まだ受験が終わっていない人がいることに気づかないようでした。7月に部活動を引退してから志望校にどうしても行きたくて、がむしゃらに勉強した夏休み。11月に三者面談があったときは、これまでの試験の成績をもとに先生から「これぐらいの力があれば、前期入試で受からなくても後期入試で合格できるかもしれないね」って言われたので、僕もほんとに嬉しくて冬休みもさらにかんぱりました。それなのに合格した人たちが、必死になって学習しようという雰囲気を壊しました。

2月初めからのたった3週間。7月からあれだけ頑張ったのに、たった最後の3週間で、僕は同じ高校を目指す他のライバルたちに敗れたのでした。クラスの仲間は、僕たち3人が不合格になってしまった責任を感じているようです。自分が一番悪いことわかっているのに、僕は不合格になった時クラスの仲間を恨みました。大好きなクラスだったのに、「このクラスでなければ、僕はギリギリまで頑張って勉強して、きっと合格できたらうに」と思うと、悔しくて仕方ありません。公立後期入試の発表で僕の名前がなかったときの絶望感…僕はこの日のことを忘れることはないと思います。

その日から卒業式までは1週間でした。クラスは僕たちに気遣って、高校の話もしなくなりました。僕はそれを感じたとき、本当に惨めな気持ちでした。その後、僕は二次募集で何とか合格でき高校生にはなりましたが、もちろん行きたい高校ではなく3年生になるというのに、自分の学校に対する誇りや愛着を感じていません。

受験は、合格不合格に分かれます。受験で失敗したことを、今でも気持ちを切り替えられないのはなぜでしょうか。それは「僕が思っていることを口にしないまま」だったからです。

僕は、本当は言いたかったのです!!合格した友人が朝学習や自習が多くなった2月の授業でずっとおしゃべりをしてた時も、「遊ぼう」と誘われた時も、メールが1日に何度もあった時も。「僕は、まだ受験が終わってないんだ!君たちは自分の受験が終わったら、それで終わりなのか!?僕だって…合格したいんだ!!」と、何度、言おうと思ったかわかりません。でも、じっと我慢して結局は言わずに終わってしまいました。でも、あの時自分の気持ちを言っていれば、きっとクラスのみんなは学級全体が合格できるようにと応援してくれたのではないかと思います。そうすれば違った結果になっていたかもしれない。そうしたら、たとえ不合格でも「自分ではできるだけのことをやった」と納得できたと思うのです。

今回、母校の中学校から「受験の先輩から、後輩の皆に伝えたい事」として、何か書いて欲しいと言う依頼を受け、僕の受験に関しての苦い思い出を書き綴りました。僕の受験の失敗が少しでも役に立てば良いと考えたからです。この時期だからこそ、僕は皆さんに考えて欲しい。あなたがまだ志望校に合格しないときに、自分が合格したからといって自分勝手にはしゃぎ、毎日いい加減な生活をする知人に対し、どんな気持ちになりますか。

